

7人の功績をたたえ表彰

パルナスで町善行・功労者表彰式

町に対して功労や善行のあつた人たちを表彰する式典が、11月25日(金)パルナスで行われ、4人の功労者が出席しました。



式典では、町長が「本日このように皆さんを表彰できることは大きな喜び。これまでの尽力に敬意を表する」と、受賞者へ感謝の言葉を述べました。

受賞者からは、代表して尾崎キヌ子さんが「町民として当然のことをしたまで、これからも微力ながら尽力したい」と受賞の言葉を述べました。

■受賞者(敬称略)

青山雅晴(議会議員15年以上
今泉下地区)／尾崎キヌ子(民生
委員児童委員21年以上、入舟地
区)／山崎勇(納税貯蓄組合組
長20年以上、尾別地区)／塚本
トミエ(交通整理員40年以上、
富野地区)／坂本チツ子(社会教
育委員21年以上、富野地区)／
倣工藤尚二(行政連絡員22年以
上、上町地区)／斉藤弘(山林寄
付、北海道札幌市)

町民祭での募金・売上金の一部を寄付

町商工会女性部・工業部会

東日本大震災の被災者に対して義援金を送ろうと、11月18日(金)に町商工会女性部の2人と下山事務局長が役場を訪れ、日本赤十字社中泊分区長の町長に義援金を手渡しました。

この義援金は、なかどまり町民祭で女性部が行った「ほっけのすり身汁」を振る舞ったイベント時に募金を募ったもので、今回日本赤十字社に対して寄付されるものです。

今回の義援金贈呈について、女性部の塚本さんは「今年は震災があり、皆さんいろんなところで寄付をしていると思う

が、その中でこれだけ

もの募金が集まった。本当にありがたい」と、皆さんの善意に感謝していました。

一方、同会の工業部会では、同じく町民祭の中で行われている商工会福の市で「包丁研ぎ」を行っており、その売り上げの一部を11月10日(木)に、町社会福祉協議会へ寄付しました。

同部会の寄付は、平成19年から毎年行われているもので、今年で5年目。社会福祉に役立ててほしいということで、鈴木工業部会長が、社会福祉協議会の古川事務局長へ手渡しました。



バラエティに富んだイベント展開

町教育力アップ推進事業

町教育委員会では、「中泊町教育力アップ推進事業」の一環として、今年度さまざまなイベントを行っています。

9月7日(水)と16日(金)には「こころ・体スツキリ講座」を中里・小泊両地域の子育て支援センターで行いました。講師にJRF A公認フットセラピスト境江利子氏を招き、日頃の育児や家事に疲れた体を癒す方法を学びました。小さい子どもにも気持ちいいのが分かるようで、笑顔で遊んでいました。

また11月11日(金)には、盲目のシンガーソングライター 板橋かずゆきさんによるファミリーコンサートを開催。ゲストに下



【こころ・体スツキリ講座】

北半島在住の女性シンガー、マミーシノさんと、青森県内で活躍中のピアニスト 小松由美子さんを迎え、町民約200人が歌声と演奏に酔いしれました。来年3月4日(日)には、この事業の一環として、映画「津軽百年食堂」の上映会も予定されています。



【ファミリーコンサート】

ウォーキングで紅葉狩り楽しむ

町ウォーキング協会設立記念
大沢内ため池ウォーキング

大沢内ため池周辺で11月3日(祝)、大沢内ため池ウォーキングが行われました。

このイベントは、町にウォーキング協会が設立されたのを記念して行われたもので、当日は約250人が参加するほどの盛況ぶりでした。

集まった参加者は、5.9kmと11.5kmのコースに分かれて出発。晴れの天候もあり、足取り軽く歩き始め、途中立ち寄った平成の名水百選「湧つぼ」で冷たい清水を飲んだり、ため池にかかる木橋から望む紅葉を楽しんだりなど、思い思いにウォーキングを楽しんでいました。

ゴールした参加者は、ため池公園で昼食。焼きイカ、おにぎり、じゃっぱ汁という、町ならではの食事を楽しみ、大満足で帰って行きました。

